

尙御出席御差支の節は作勝手激電を左記へ願上候
神戸市海岸通二丁目四ノ一 郵司同友會宛 敬 具

△日時 昭和四年五月七日午後七時ヨリ
△場所 神戸市三宮町、カフェーパウリスタ(三階)

檄 !!

壊滅より再建へ!

之れ三司厨部員の衷心よりの希望であつた。然して昔國二年の後、吾等は再び、昔日の郵司同友會を築き上げたのだ。

再建より闘争へ!

之れ吾等の胸中に高鳴る決意である! 時來る! 時來る! いざ戦はん哉! 輝かしく闘争への首途を飾る眞年度の總會に吾等は何を誓ひ何を語らんとするか!!

來れ同志よ!

吾等の總會へ!

昭和四年五月六日

郵司同友會

三、總會記

(一)

五月七日、夜來の豪雨だ! だが、雨が降らうと火が降らうと、吾等の總會は開催されるのだ。

集れ同志よ! の物凄き合言葉で、定刻七時には、土砂降りの中を、会場指して馳せつける同志の面々。あさから〜と續く。

午後八時!

會員席、顧問席、招待席、新聞記者席、傍聴席、臨席席は一瞬鳴を静めたが、次の瞬間には、萬場拍手を以て開會を促した。

此時大塚書記、正面壇上に立ち、おもむろに、

「諸君! 只今から開會を致します。折柄の急雨のため、及び、會員諸君の仕事の関係上開會時間をおくられた事をお詫びすると同時に、かくの如く多數の御來賓の御臨席を辱ふし、又、會員諸君の熱心なる御出席に對して、深甚なる感謝の辭を捧げます。

本日の總會は誠に意義深き會議であります。就いては、こゝに會則第二十六條に依り、久留會長に議長をお願ひして、開會の辭を致します」

再び堂をゆるがす拍手! 拍手!

吾等の會長、久留氏は、その巨軀を議長席に就く。